

# 彩の歳時記

平成二十一年 十二月

昭和五年に発表された、みよしたつじ三好達治【1900～1964】の

詩集「測量船」所収の二行詩『雪』は優しい文体で愛唱され、教科書にも多く採り上げられた近代詩の代表作。

「太郎・次郎」は人々の象徴であり、その上に深く降り積もる雪の情景は、冬の白川郷「世界遺産」を思い起こさせます。毎年、一月末から二月末の土曜日にライトアップされ、観光客で賑わいます。温暖化で見ることもしなくなつた「雪」は今も日本人のノスタルジーを湧きたてるようです。



十二月の異称 師走 しわす 昔は、家に僧(師)を迎えて経を読ませたことから「師が走る」に由来。除月 じよげつ

## 十二月の暦

七日 大雪(たいせつ)【二十四節気】雪いよいよ降り重なる折からなれば也 (暦便覧)

この日より立春「二月四日」前日までが暦の上では「冬」。

八日 開戦記念日 一九四一年(昭和十六年)のこの日、日本海軍はアメリカの太平洋艦隊の根拠地ハワイの真珠湾を急襲、太平洋戦争の火ぶたが切つておとされた。



九日

### 漱石忌

近代文学を代表する小説家・夏目漱石【1867～1916】の忌日。本名「金之助」

漱石は頑固者という意味の故事「漱石枕流」に由来。「坊ちゃん」「三四郎」「こころ」など今も読者が絶えない。江戸牛込に生まれ、雑司が谷霊園に眠る。



吾輩は猫である

平井照敏【1931～2003】

漱石忌 猫に食はしてのち夕飯

十三日

### 正月事始

煤払い・松迎えなど年神様を迎える準備を始める日として、昔はこの日に門松や雑煮を炊くのに必要な薪を山にとりに行った。

あくる日は夜討ちとしらず煤をとり

二十二日

### 冬至(とうじ)【二十四節気】

一陽来復は一番(陰)の日から徐々に陽光(陽)が差し込んで来ると言う意味合い。昼が一番短い日で、古くはこの日が年の始点。冬至南瓜や柚湯の慣習が残る。

二十三日

天皇誕生日 第一二五代・今上天皇明仁殿下は今年十一月十四日に即位二十二年を迎えられ、国立劇場で記念式典が行われた。昭和八年生まれの七十五歳。

二十五日

クリスマス イエス・キリストの降誕記念日。西暦はこれに基づく。



三十一日

### 大晦日・除夜

「除」とは「旧い年を払い除く」の意。細く長くを願い蕎麦を食べる。宵寝して年越蕎麦に起こさるる 水原秋櫻子【1892～1981】

## 十二月の歌

赤鼻のトナカイ

訳詞

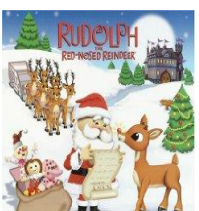
草野昌一【1931～2005】

時代を越えて歌い継がれる「サンタが街にやっ、てくる」、ジングルベルと並ぶ三大クリスマスソングの一つで、1948年、アメリカで生まれた。

1939年、原作者のロバートメイが、貧しい暮らしの中で

「人と違うって素敵なこと」というメッセージを込め、娘にクリスマスプレゼントをした「赤鼻のトナカイ・ルドルフ」

の話が後に出版され、六百万部をセールス。1949年、義兄デビットマークスが物語に楽曲をのせ、世界へと広がった。



訳詩の新田宣夫(草野昌一)は漣健児のペンネームで「可愛いベイビー」などを訳詩し、雑誌「ミュージック・ライフ」を創刊するなど音楽出版ビジネスの先駆者として、ホワイトハウスにも招待された。

まっかなお鼻の	トナカイさんは
いつもみんなの	わらいもの
でもその年の	クリスマスの日
サンタのおじさんがいました	
暗い夜道は	ピカピカの
おまえの鼻が	役にたつた
いつもないてた	トナカイさんは
こよいこそはと	よろこびました